

URL <http://www.teisokasei.com> 〈E-mail〉 info-teiso@teisokasei.com

ご意見・お問合わせ

TEL052-891-8311 fax 052-891-8440



セアカゴケグモ騒動記

～ 地球温暖化の影響か？ セアカゴケグモは、その活動範囲を広げている ～

日本では、1995年11月大阪府堺市で初めて確認されました。その当時は、セアカゴケグモが日本の冬の低温期を越冬することが出来ないとされていました。どうやら、低温期には休眠し、春になって再び活動することが判明したようです。愛知県内では、2005年8月中部国際空港の滑走路付近で発見されたのが、最初でした。

6月5日 国土交通省中部地方整備局によると、愛西市立田町の木曾川河川敷でセアカゴケグモが見つかったと発表しました。あいついで木曾川を中心とする岐阜県、三重県でも発見されたため、騒動が始まりました。セアカゴケグモは、貨物の移動に紛れて空港や港などで発見されることが多く、そこから移動する車両に付いて、さらに内陸部に移動していると推測されています。

長良川河口堰ホームページ (<http://www.gix.or.jp/~naga02/nagara/japanese/indexj.htm>) には、私どもの社員も出動した6月13日(社)愛知県ペストコントロール協会による調査の様子や写真などが掲載されています。現在のところ、長良川河口堰管理事務所の職員による毎月1回の定期調査の結果、8月以降では、成虫・卵のうは発見されていません。(詳細は、上記HPアドレスに掲載)



セアカゴケグモ成虫(♀)

「平成20年8月末豪雨」被害後の消毒殺菌作業

8月29日未明から、関東、東海地方にかけて活発な前線と低気圧の影響により記録的な豪雨が襲った。愛知県下では、3名の方が亡くなり、床上浸水2200戸、床下浸水1万1000戸、農作物では2億円を超える被害が発生しました。被害に遭われた方には、心からお見舞い申し上げます。

岡崎市などの量販店などから、浸水後の消毒殺菌の相談や依頼がありました。依頼された現場では、被害状況に応じた薬剤と使用機材を選択し、迅速な対応を行いました。

主な使用薬剤は、0.1%グリシン系両性界面活性剤を主成分とする消毒剤(医薬品)です。この薬剤は様々な菌に対して、殺菌効果が高いことが特徴で、殺菌効果のほかに脱臭作用・洗浄作用などもあります。また、機械の下の隙間などの手の届かないところには、アルコール製剤を炭酸ガスで噴射して、すみずみまで殺菌処理を行いました。

■お知らせ■ PCG-21が主催する特別セミナー

私どもの会社はペストコントロール業務のさらなる発展に向けて、研究活動を目的とするPCG-21に参加しております。来たる11月19日「第5回製造施設における衛生管理技術セミナー」が安保ホール(名古屋市中村区)にて、10時より開催されます。主な講演内容は、次の通りです。



「製造工場で混入問題を起こしやすい昆虫の研究事例」・「新製剤ミラクンPYについて」

「食品工場における設備管理」・「工場で見られる飛翔及び徘徊昆虫の同定について」

詳細は、弊社ホームページ [<http://www.teisokasei.com>] のWHAT'S NEW10月3日に掲載中です。席も残りわずかですので、ご希望の方はお早目にお問い合せ下さい。